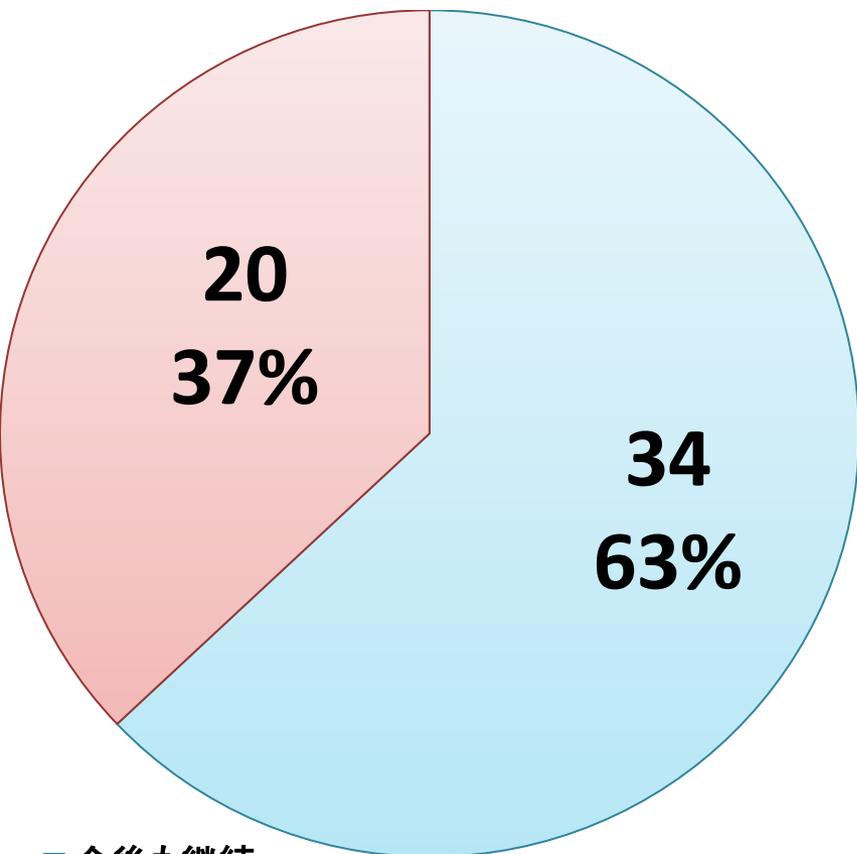


第3回研修戦略委員会 アンケート調査結果

第53年度研修戦略委員会

1-1 今年度より例会前の食事が軽食になった点についてどうお考えですか。



- 今後も継続
- 要改善

○継続意見

- ・会員同士の交流の場として必要
- ・会員同士のコミュニケーションの場としての食事の為、食事の形態を問わなくてもいい
- ・限られた予算内で他の研修などに予算を転用可能
- ・気軽に食べれて話もしやすい
- ・懇親会の食事を考慮すると十分
- ・弁当は余るともったいない
- ・会の運営上、会費維持の為に必要

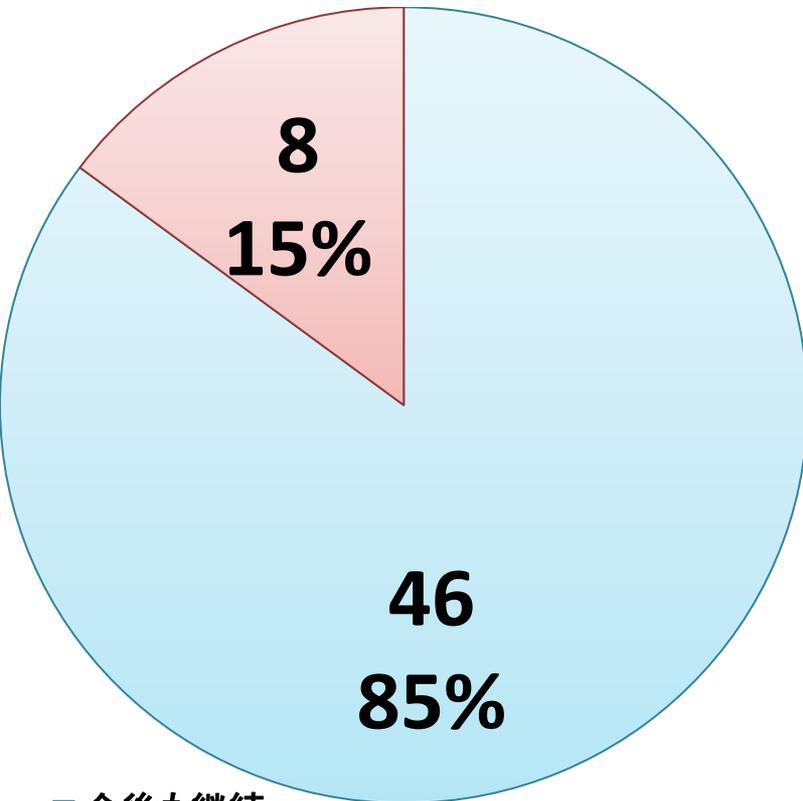
○改善意見

- ・食事は会員同士のコミュニケーションを図る大切な時間、軽食だとすぐに終わってしまう
- ・軽食ではお腹がすいて集中できない
- ・バリエーションが少なすぎる
- ・総会がある時はお弁当とかにしてもよい
- ・経費を削るための軽食なのに余りが出ても意味がない
- ・食事も含めて少ない予算内でやりくりする、できないのなら会費の値上げもやむをえない

○まとめ

- ・食事形式は、以前の弁当スタイルでもよいという声が上がった反面、同席した会員と話ができるという点では、現在の軽食スタイルでもできるから特に問題がない
- ・軽食について、形式は拘らない、それよりも二次会も含め、なぜそれがあるか、また食事をする事から例会であるという意味合いを周知徹底し、全員が理解する事が重要である

2-1 毎月の封入資料や訃報のメール配信についてどうお考えですか。



■ 今後も継続

■ 要改善

○継続意見

- ・不便はない
- ・ペーパーレス、紙媒体はできるだけない方がいい、総会案内もWebでもいいのでは
- ・経費も軽減できていい
- ・印刷する手間が省ける
- ・外出先や携帯で確認ができる
- ・電子化により事務負担軽減ができる
- ・訃報のメール配信は良い

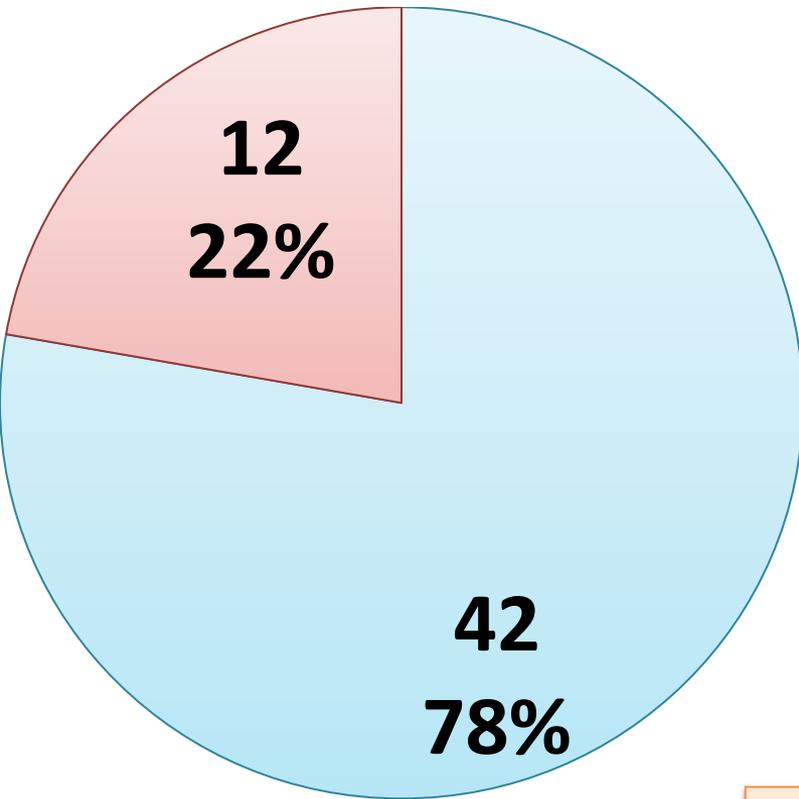
○改善意見

- ・資料を見なくなった
- ・配信アドレスの受信確認や引き継ぎ、変更の手続きを徹底する必要がある
- ・スタートしたばかりなのでまだまだ改善をしていく必要は有ると思います
- ・訃報後の確認電話の必要・不要

○まとめ

- ・メール配信の取組みで、広報委員会の活動も負担が軽減でき、連絡事項がしやすくなったので 今後の継続は不可欠
- ・メールが既読してもらえたかの確認をどのようにすべきか検討が必要
- ・総会案内もメールを活用した形式も今後の検討が必要

2-3 今期より定期的にメルマガの配信についてはどうお考えですか。



- 今後も継続
- 要改善

○継続意見

- ・楽しい、面白い
- ・会話のネタになる
- ・封入配信とは違った案内で読みやすく、親しみやすい

○改善意見

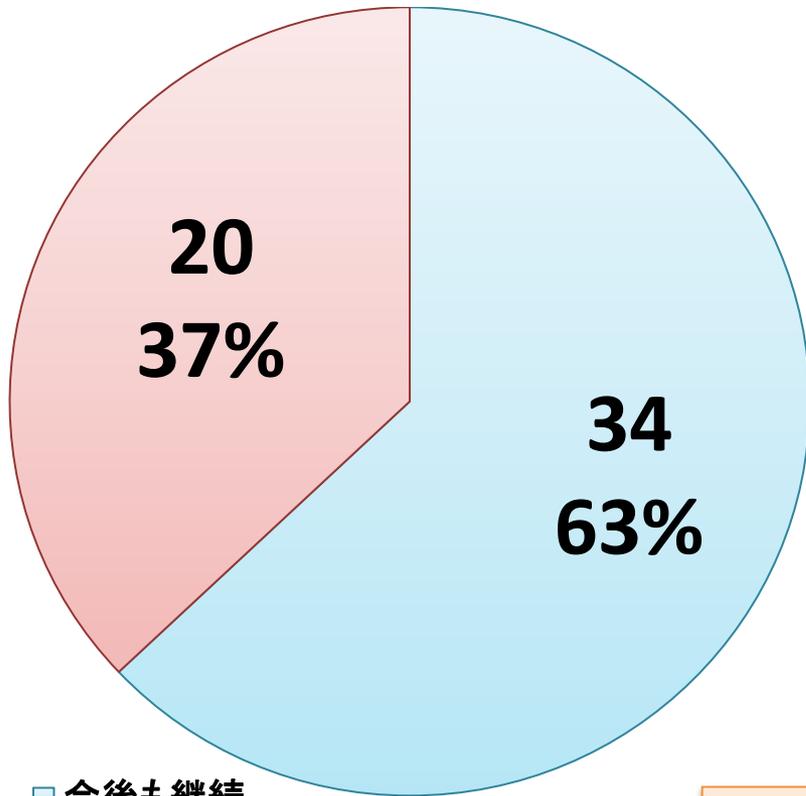
- ・作成が大変そう、来期以降できるか疑問
- ・メルマガと封入資料の配信が二度手間になっているような
- ・委員会ごとに月替わりにしてみる
- ・年度ごとの判断でお任せでもいいと思う



○まとめ

- ・外部の方々にOJBをしてもらうために、現状あるホームページをうまく活用していく
- ・OJBの活動をユーチューブ動画を使ってPR動画を作成しホームページにリンクしたり、今あるFacebookを定期的に更新するなどうまくネットを活用し、今後の会員獲得や誰でも気軽にOJBを知ってもらえるPRツールを考えてみてはどうか

3-1 名刺交換会についてどうお考えですか。



- 今後も継続
- 要改善

○継続意見

- ・名刺交換の機会(場と時間)を持てたことがいい
- ・会員間でも名刺交換出来てないので、早い段階で新入会員との交流ができるいい機会
- ・新入会員との初顔合わせとしてよかったのでは
- ・新入会員の最初の行事として行ってみてはどうか
- ・一度に交流でき、スムーズに名刺交換ができる

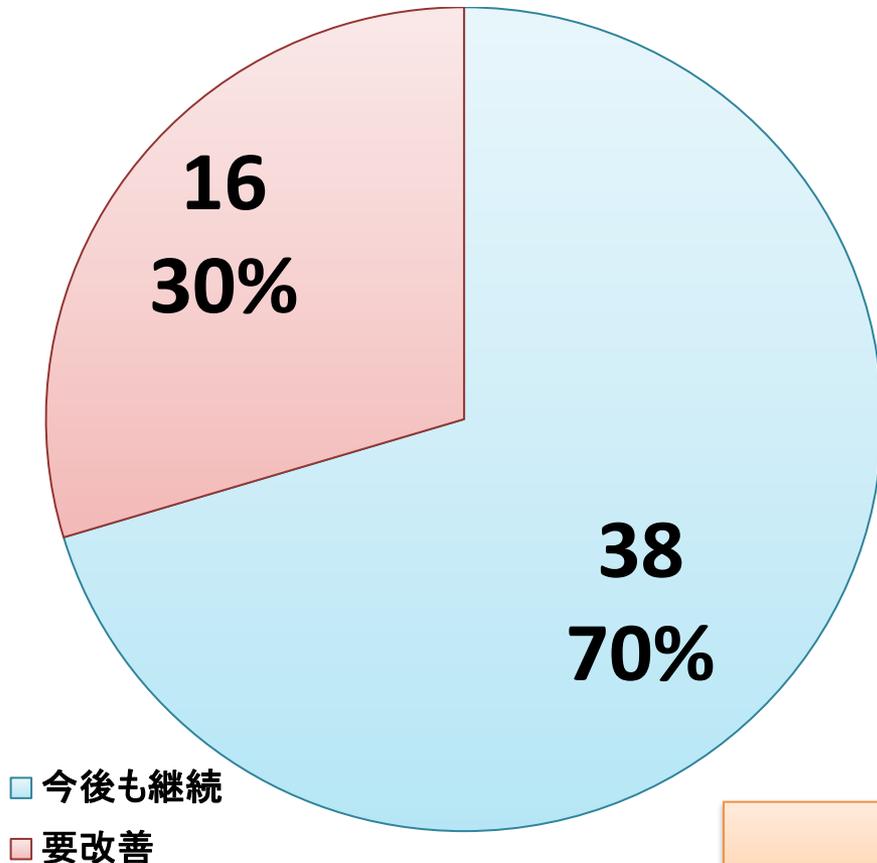
○改善意見

- ・時間が短すぎて、ただの交換になってしまったので時間をかけてやれるといい
- ・一度に多くの方との名刺交換をしても、結局顔と名前が一致しない
- ・名刺交換だけではお互いを知ったことにはならないので話せる機会があるといい

○まとめ

- ・例会の前後や受付時に行くなど改善をして継続していき、会としてどう組み込むか考えていく必要がある
- ・名刺入れは好評で継続していき、定期的にフォローもかねてチェックをするといい
- ・新入会員へは例会や行事毎に出席が減ってきたら電話での対応をしたり、グループLINEや同期会を作ったりして、大変だが細かいフォローをしていけるといい
- ・現会員へのフォローも紹介者や仲がいい方に協力いただきアプローチをしていく
- ・会員募集の手段として、広報とコラボして案内を作成し、置かせてもらうなど広報を使った会員募集もいいのでは
- ・他団体とのつながりを密にしていき、例会に卒業の近い方を招待し、当会の事業を見て頂くことで会員獲得に繋げる

4-1 今までにない研修手法(MQ戦略ゲームなど)についてどうお考えですか。



○継続意見

- ・楽しくできた、大変勉強になった
- ・今までにない研修で、実践的・体験型の研修は今後もあるといい
- ・大変勉強になったので、新しい研修内容は継続的にして欲しい
- ・目玉になる研修を毎年行うことでOJBの売りになるのでは
- ・学ぶ機会があるということに意義がある

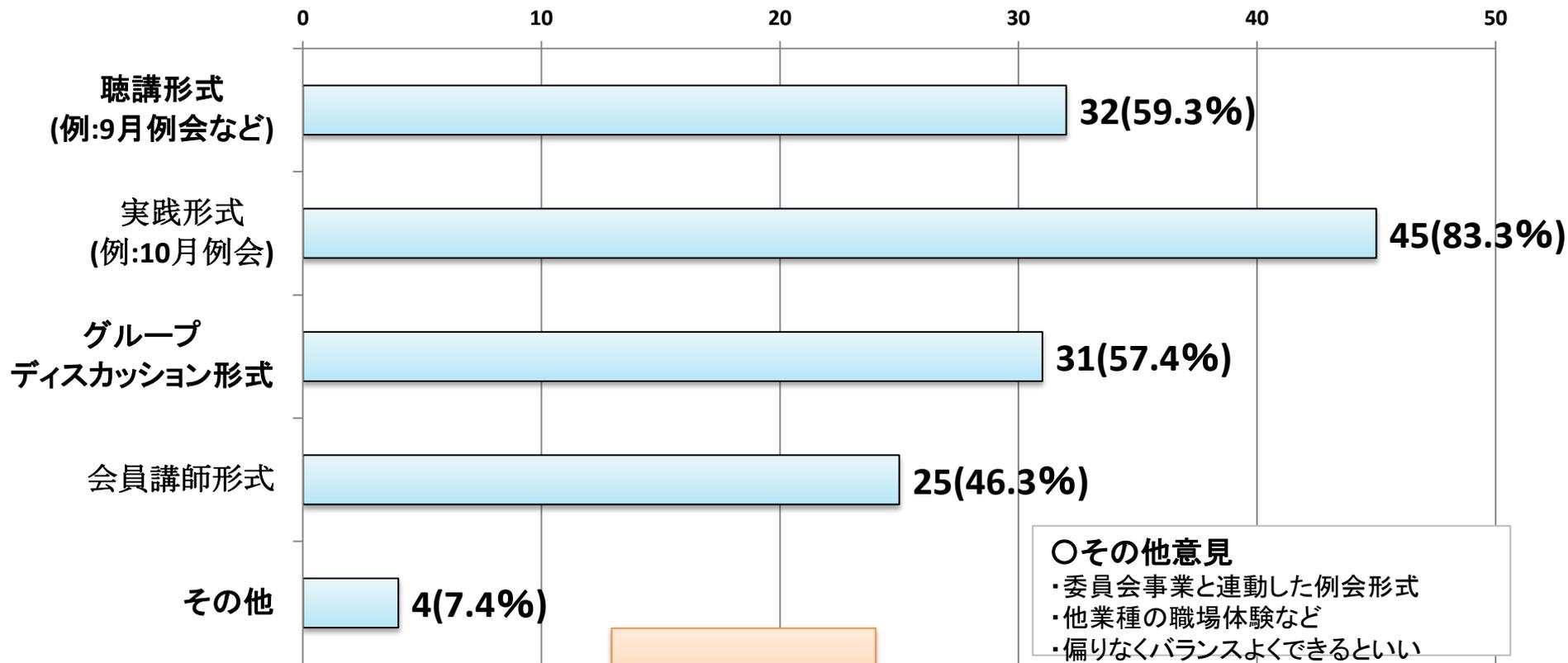
○改善意見

- ・日程などの都合でのハードルが高かった
- ・単発ではなく継続的に行わないと効果が薄いのでは
- ・ゲームで終わるのではなく、次につなげられる研修にできるといいのでは
- ・例会に取り入れるのもいいのでは

○まとめ

- ・OJBのひとつの色合いである例会で受ける研修以外の研修を出来たことは、この年度の特徴でもあった
- ・例会とは別に実践研修を組んで行えたのは非常に良かった
- ・今後あるべき(会員が望む)形の一つとして今年度は「研修」に特化した委員会活動であった
- ・MQは大変勉強になった、それも踏まえ、本質を見失わなければ、形は拘らなくて良いと思う

5-1 10月例会では実践形式の例会も行われました。以下の例会形式について、参加したい形式をお聞かせください。(複数回答可)



○まとめ

- ・聴講による入力ばかりでなく、会員講師形式による出力の場があっても良い
- ・実践形式は良かった、記憶に残っている、また自社へ持ち帰りやすい
- ・(会員講師形式は苦手、という意見が出た上で)しかしながら苦手な事をやらないと意味がない
- ・その年度が何をやるかは自由、但し、年度のスローガンや個別の会や物事の生い立ちや意味合いを担保している事が重要である。(自由と表現している部分は未来への提言や会則に基づいた当年度の会長の思いであることは重要)

6 今後、例会で取り上げたいテーマや内容、呼んでみたい講師等を具体的にお聞かせください。

○具体的意見

<講師>

- ・旬な話題のある方や産官学は問わず講師とする
- ・永続している企業の共通点など老舗といわれるお店を研究している方

<内容>

- ・その時の話題のあること(消費税やAI、労使・労災関連の働き方に関すること、メンタルヘルスなど)
- ・投資や日本史など普段の目線とは違った内容

<形式>

- ・話し方、スピーチ力を身につけるなど実践的な研修ができる例会
- ・ワークショップ
- ・会員同士で、成功企業や参考事例から経営についての勉強会やディスカッション
- ・会場や時間の変更など。例えば朝にお寺とか。
- ・会員研修

<その他>

- ・会員内、会員外の企業とのビジネスマッチング
- ・過去の例会で人気のあった例会を再度行う



○まとめ

- ・座禅や滝行のような精神修行的な研修があっても良い
- ・会社訪問を例会に当てても良いのではないかと、年一じゃなくても良いのではないかと
- ・落語家やRPAなど珍しいタイプの先生を講師として招くと参加人数が多くなる。
- ・経営者としてITなどの分野は今後役に立ちそうな話題が良かった。
- ・体験型の例会ではレゴブロックが好評で、またそのレゴブロックの例会から、その後の研修戦略委員会の活動にもつながっており、例会と委員会活動の連携が良かった
- ・今年度は担当例会が例会委員会のみでできたことから、講演内容に一貫性を持たすことができたことも良かった。

7 研修旅行や企業訪問等で行ってみたい旅行先や企業名がございましたらお聞かせください。

○具体的意見

<講師>

- ・企業規模の大小に限らず製造業や食品・飲食業
- ・農業法人
- ・Amazonなどの主要IT企業
- ・例会の講師の方の企業
- ・革新的な取り組みをしてる企業

<場所>

- ・長野、山梨等の内陸県
- ・ドイツかアメリカシリコンバレー
- ・隠岐の島
- ・熊本、宮崎
- ・外に遊びに行くところが無い地域

<その他>

- ・年度の会長の想いを象徴する研修旅行



○まとめ

- ・研修旅行の行き先について、スノーピーク(新潟)のような右肩上がりの会社を訪問したい
- ・会社訪問を例会に当てても良いのではないかと、年一じゃなくても良いのではないかと

8 最後に、その他、ご意見・ご感想等ございましたらお聞かせください。

○具体的意見

- ・先のことを踏まえて、例会や委員会活動を考えていく必要がある形式にとらわれず、前進的に会の運営を考えなければいけない時期だと考えます
- ・昔から続けている事を継続していくことの大切さ、また、新しい事を取り入れていくことの大切さ、双方を会員1人1人が認識し推進できるOJBであるべき
- ・研修に特化したOJBであり続けるべき
- ・新しい取り組みが多く、実践してみてわかることがたくさんあった年度
- ・変化を恐れず守るべき伝統は大切にしていく
- ・全体的に会場費に予算がかかりすぎている、研修自体に予算を使うべき
- ・毎年同じことを行っていては研修にならない
- ・それぞれの年度ごとに工夫することは良いこと



○今年度や上記意見を踏まえ、今後、長期計画として残すため検討すべき点について考察

- ・今までも長期計画委員会では会員数や年会費の事が取り上げられるが、その点ばかりを追ってもこの会の本質を見失うのではないか
- ・例会を始め、細部に亘り生い立ちがあり、意味合いがある。そういった伝統的な原理原則といった本質を、長期計画として残していくべきである。そのような観点からすると、そもそも長期計画というような呼び方がどうなのか、という点も今後、検討すべきではないか
- ・会員数の増減や会費等の当会が抱える問題に、具体的にアプローチできる活動は今後も継続していけると良い